

醸造用ぶどう

1 調査基準

(1) 樹性、樹体生育

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁	
					調査	平均
樹齢	接木後あるいは挿し木後の生育シーズンの数。接木(挿し木)当年を1年生とする。	A	計数	年生	1	
樹数	生存樹数、なお枯死樹についてはその樹数および原因を障害欄に記載する。	A	計数	樹	1	
幹周	樹勢については生育期間中、その他は落葉後から剪定前に調査する。 接木部の上部 10 cm (挿し木の場合は地上部 20cm) の太さ	A	測定	cm	0. 1	0.1
樹幅	樹冠の樹列方向の長さ	A	測定	m	0. 1	0. 1
台負け程度	台木周÷幹周×100	C	測定	%	1	1
新梢の登熟程度	新梢の木質化した部分の比率から判定 不良：0～20%未満、やや不良：20～40%未満、中：40～60%未満、やや良：60～80%未満、良：80%以上	B	観察			
樹勢	新梢の長さ、太さ、複梢の発生程度から判定 弱、やや弱、中、やや強、強	B	観察			

(2) 生態

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁		
					調査	平均	
発芽期	全腋芽数の20～30%で第1葉が見え始めた日	A	観察	月日	1	1	
展葉期	発芽腋芽数の20～30%で第1葉が開いた日	C	観察	月日	1	1	
開花期	開花始	20～30%開花した花穂が80%以上になった日	B	観察	月日	1	1
	開花盛	80%開花した花穂が80%以上になった日	A	観察	月日	1	1
	開花終	70～80%の花冠、雄ずいの脱落した花穂が80%以上になった日	B	観察	月日	1	1
成熟期	70～80%の果房が収穫可能になった日	C	観察	月日	1	1	

(3) 腋芽数

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁	
					調査	平均
全芽数	剪定後の全腋芽数	A	計数	個	1	0. 1
折損芽数	休眠期間中に結果母枝などの折損により枯死した腋芽数	B	計数	個	1	0. 1
折損芽率	折損芽数÷全腋芽数×100	C	算出	%	0. 1	0. 1
寒害枯死芽数	休眠期間中に腋芽および結果母枝などの寒害により枯死した腋芽数	A	計数	個	1	0. 1
寒害枯死芽率	寒害枯死芽数÷(全腋芽数－折損芽数)×100	C	算出	%	0. 1	0. 1
生存芽数	芽かき前の生存腋芽数	A	計数	個	1	0. 1
生存芽率	生存芽数÷全腋芽数×100	C	算出	%	0. 1	0. 1

(4) 新梢数、新梢長など

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁	
					調査	平均
新梢数	芽かき後剪定前に調査する。 1 樹当たりの新梢数	A	計数	本	1	0.1
結果枝数	1 樹当たりの花穂の着生した新梢数	C	計数	本	1	0.1
新梢長	必要に応じ、全新梢あるいは一定数の新梢を調査しその調査月日を記載する。 1 新梢当たりの長さ	C	測定	cm	1	0.1
葉数	1 新梢当たりの葉数	C	計数	枚	1	0.1
木質化長	新梢の木質化した部分の長さ	C	測定	cm	1	0.1
木質化率	木質化長÷新梢長×100	C	算出	%	0.1	0.1

(5) 着花、結実、花振りなど

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁	
					調査	平均
着花穂数	1 樹当たりの花穂の着生数	C	計数	個	1	0.1
平均着花穂数	1 新梢当たりの花穂の着生数	C	算出	個	0.1	0.1
花振り程度	開花期から収穫期までに調査し、それぞれを以下の基準により判定	B	観察			
灰色かび病被害程度	開花期 収穫前 なし：0%、僅：5%未満、少：5～10%未満、中：10～20%未満、多：20～50%未満、極多：50%以上	B	観察			
		B	観察			

(6) 収量

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁	
					調査	平均
収穫果房数	1 樹当たりの収穫果房数	A	計数	個	1	0.1
収穫重量	1 樹当たりの収穫果房重量	A	測定	kg	0.1	0.1
10 a 当たり換算収量	1 樹当たり収穫重量および栽植密度から算出	C	算出	kg	1	1

(7) 果実特性、果実品質

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁	
					調査	平均
収穫月日	調査果実の収穫月日	A		月日	1	1
調査月日	果実調査月日	C		月日	1	1
果房重	収穫果房の中で、品種固有の形質をもつ平均的な5果房について調査する。 調査果の1果房平均重量	A	測定	g	1	1
果房長	果房の着粒部分の長さ	C	測定	cm	0.5	0.1
果房形	果房の横から見た形から判定 球、円筒、円錐、有岐円筒、有岐円錐、複形	B	観察			
果皮色	果皮の色を判定 黄緑、黄白、淡紅、赤、赤褐色、紫赤、紫黒、黒	B	観察			
着粒密度	果粒の着粒の程度を果房ごとに観察し判定 粗、やや粗、中、密、極密	B	観察			
脱粒の有無	調査時の脱粒の有無を判定 なし、有り	C	観察			

裂果および病果	裂果程度 病果程度	裂果および病果粒の発生割合を果房ごとに以下の基準で判定 なし：0%、僅：5%未満、少：5～10%未満、中：10～20%未満、多：20～50%未満、極多：50%以上	B C	観察 観察			
果粒形		果粒の横から見た形から判定 扁円、円、短楕円、卵、倒卵、円筒、長楕円	C	観察			
果粒重		果房の各部位から1果房当たり10果粒を取り5果房分を一括計量して1粒重を算出	A	測算	g	1	0.1
糖度		同上の果粒を一括して搾汁した果汁の屈折糖度計示度	A	測定	%	0.1	0.1
酸度		同上の果汁5mlに対するN/10NaOH 滴定値の酒石酸含量換算値	A	測定	g/100ml	0.01	0.01
糖酸比		糖度÷酸度の値	B	算出		0.1	0.1
香気		食べたときに感じる香気を判定 なし、マスカット、フォキシー、その他	C	官能			
果実熟度		食べたときに感じる熟度を判定 未熟、やや未熟、適熟、やや過熟、過熟	C	官能			
果汁の多少		果粒を指で压したときの果汁の出方から判定 少、中、多	C	観察			
果汁の色素		果粒を指で压したときの果汁の色の程度から判定 なし、淡、中、濃	C	観察			

(8) 病虫害、障害など

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁	
					調査	平均
病虫害	特異的に発生した病虫害名、障害名、気象災害名とその程度を記載 程度は、樹体・収量・品質に及ぼした影響により判定。 少、やや少、中、やや多、多	A	観察			
生理障害		A	観察			
自然災害		A	観察			

(9) その他

項目	調査基準	ランク	調査	単位	最小桁	
					調査	平均
特記事項 評定	調査項目以外で特に気がついた事項を記載する。 総合的に評価し、判定する。 ◎：優良、○：有望、△：不明、×：見込みなし	C A				

